

## アメリカネナシカズラのゲノム解析

大林武<sup>†1</sup>、横山隆亮<sup>†2</sup>、山田和範<sup>†1</sup>、青木裕一<sup>†3</sup>  
田高周<sup>†3</sup>、西羽美<sup>†1</sup>、木下賢吾<sup>†1,3</sup>、西谷和彦<sup>†2</sup>

**概要**：ナス目ヒルガオ科の絶対寄生植物ネナシカズラ（根無葛）は、近年、茎寄生植物のモデルとして注目されつつある。ネナシカズラ族の中でも、環境省指定の生態系被害防止外来種リストに含まれるアメリカネナシカズラは、北米地域のみならず日本国内でも農業被害をもたらしている種であることに加えて、光合成能力をほぼ完全に失った植物としてゲノム進化の観点からも重要である。我々はこのアメリカネナシカズラのゲノム解析を行い、光合成能力の喪失、根と葉の退化、寄生能力の獲得といった観点から解析を進めている。本研究では配列解析の概要について報告する。

**キーワード**：遺伝子ネットワーク、遺伝子共発現、トランスクリプトーム、進化

---

†1 東北大学大学院情報科学研究科

†2 東北大学大学院生命科学研究所

†3 東北大学東北メディカル・メガバンク機構